



夏本番！本島イルカ村で訓練中のイルカたち

6月定例会
5月29日～6月22日

主な内容

- 本会議のあらまし …………… 2
- 常任委員会審査 …………… 3
- 議案の内容 …………… 4
- 審議した議案とその結果 …… 5
- 請願審査 …………… 5
- 一般質問 ……………6～11
- 議会よもやまばなし………… 12
- 編集後記………… 12

6月定例会

一般会計補正予算^{ほか}

原案のとおり可決

本会議の あらまし

市議会6月定例会は、5月29日から6月22日まで25日間の会期で開かれました。

初日にまず、請願第2号「戦争法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）案の廃案を求める意見書」の提出を求める請願を総務委員会に付託し、続いて議案第59号から第66号までを一括議題として、提案理由の説明がありました。

3～5日、8日は、市政全般について、16名が一般質問に立ちました。

常任委員会は都市経済と教育民生が11日に、総務委員会が12日にそれぞれ開かれ、活発な議案審査が行われました。

22日の最終日は、全国市議会

議長会と四国市議会議長会から永年勤続の功績をたたえ、15名が表彰を受けました。

その後、各常任委員長から委員会に付託していた議案と請願の審査結果について、議案はいずれも原案承認、請願は不採択との報告がありました。

2議員が請願について採択を求める討論、1議員が不採択を求める討論を行ったことに伴い、分離して採決し、請願を不採択とし、議案は一括採決により原案を可決しました。

その後、議案第67号の「市政功労者表彰」、第68号「公平委員会委員の選任」について同意、第69号「農業委員会委員（学識経験委員）」を推薦し、第70号「監査委員（議員選出）選任」に同意しました。また、諮問第1号「人権擁護委員候補者の推薦」について原案を同意し、最後に議員派遣について可

決し、今期定例会を閉会しました。

人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり（敬称略）。

▼公平委員会委員

高松市錦町 中山 千晶

▼農業委員（学識経験委員）

飯山町西坂元 真鍋 順穂

▼監査委員（議員選出）

三条町 国方 功夫

▼人権擁護委員

田村町 宮崎 茂和

市庁舎整備等 特別委員会

（新）委員長 尾崎淳一郎

（新）副委員長 佐野 大輔



起立採決の様子

永年勤続15名に 表彰状を伝達

全国市議会議長会第91回定期総会及び四国市議会議長会第77回定期総会において、永年勤続者として本市議会より15名の議員が表彰されましたので、今期定例会で表彰状を伝達し、その功績をたたえました。

全国

《議員在職10年》

松永 恭二 多田 光廣
小橋 清信 三宅 真弓

四国

《議員在職24年》

三木 まり

《議員在職16年》

大前 誠治 尾崎淳一郎
小野 健一 国方 功夫
松浦 正武 横川 重行

《議員在職12年》

山本 直久 中谷真裕美

三谷 節三

《議長在職3年》

高木 新仁



委員会云審査

一般会計補正予算など 各委員会での原案承認

本会議で各常任委員会に付託された議案と請願は、11日に都市経済と教育民生、12日に総務委員会が開かれ、市長や副市長、担当部課長などが出席し、審査を行いました。
主な質疑は次のとおりです。

都市経済委員会

主な質疑

○未利用の下水道資源を有効活用しようという考えが全国的に広がっているが、本市も取り組む考えはあるか
○塩屋ポンプ場の長寿命化工事は今回で
終わりで
はなく、
場内他設
備も順次



委員会審査



塩屋ポンプ場

改修していくのか
質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

教育民生委員会

主な質疑

○市いじめ等専門委員会を設置する目的、ねらいは
○いじめ等専門委員会と学校教育サポート室との役割分担をどのように考えているか
○いじめ問題再調査委員会といじめ等専門委員会の独立性をどのように担保するのか
○保育士とみなすことができる資格に准看護師が追加されたが、業務上、准看護師ができないことはあるのか
○保健福祉センターの機材が故障した場合、今後もスムーズに取り替えるのか
○各コミュニティセンターにあるエアロバイクの利用状況は



ウオーキングマシン

主な要望

○障害者福祉施設整備支援事業補助金は、どのような基準で補助を決定するのか
○移転後の古い施設の取り壊し費用も補助の対象となるのか

○いじめ問題再調査委員会の独立性を保つため、再調査委員会の委員は県内のみならず、県外の人材の選任も検討していただきたい。
質疑の後、討論はなく、委員会に付託された案件はすべて原案のとおり承認しました。

総務委員会

主な質疑

○現時点で、繰越金総額をいくらかと見込んでいるのか
質疑の後、議案についての討論はなく、議案はすべて原案のとおり承認しました。請願第2号には、採択、不採択の討論があり、挙手採決の結果、請願は不採択としました。

議案の内容

▼議案第59号 一般会計補正予算(第1号)

介護保険特別会計への繰出金1354万8000円のほか、障害者支援施設整備費補助金3000万円、飯山総合保健福祉センターの器具購入経費70万円などを措置し、財源として、国・県支出金のほか、市債と前年度繰越金を計上し、予算総額を418億4424万8000円とするもの

▼議案第60号 介護保険特別会計補正予算(第1号)

国の制度改正による低所得者の保険料軽減策のため保険料収入を1354万8000円減額し、同額を一般会計から繰り入れるもの

▼議案第61号 情報公開条例の一部改正

独立行政法人通則法の一部改正に伴い、引用する箇所について所要の改正を行うもの

▼議案第62号 介護保険条例の一部改正

介護保険法が改正され、公費

を投入して低所得者の保険料を軽減できる制度が設けられたことから、低所得者の保険料を軽減するため、所要の改正を行うもの

▼議案第63号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、保健師や看護師に加え、准看護師も保育士とみなすこととされたため、所要の改正を行うもの

▼議案第64号 附属機関設置条例の一部改正

いじめ等専門委員会と必要に応じて同委員会の調査結果について再調査を行ういじめ問題再調査委員会を附属機関として設置するもの

▼議案第65号 塩屋ポンプ場耐震工事の委託協定

▼議案第66号 塩屋ポンプ場長寿命化工事の委託協定

日本下水道事業団と塩屋ポンプ場耐震工事委託仮協定を契約金額3億3960万円で、同じく塩屋ポンプ場長寿命化工事委託仮協定を契約金額2億4430万円で5月1日に締結したの

で、議決を得るもの

▼議案第67号 市政功労者表彰の同意

合併10周年記念式典における市政功労者表彰について議会の同意を求めるもの

▼議案第68号 公平委員会委員の選任

委員の任期満了に伴い、石川千晶氏を再任するため、議会の同意を求めるもの

▼議案第69号 農業委員会委員(学識経験委員)の推薦

多田光廣氏の辞任に伴い、農業委員会の所掌に関する事項について、学識経験を有するものを推薦するもの

▼議案第70号 監査委員の選任(議員選出)

三宅真弓氏の辞職に伴い、国方功夫氏を選任することについて、議会の同意を求めるもの

▼諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦

委員の任期満了に伴い、宮崎茂和氏を推薦するに当たり、議会の意見を求めるもの

▼議員派遣第1号 議員派遣について

議員派遣について、議決を得るもの

本会議インターネット中継!

市議会本会議の生中継と録画配信をしています。
中継ケーブルテレビの放送もハイビジョン化!
さらに見やすく、いつでも見られる市議会を目指します。

市ホームページ [●丸亀市議会](#) → インターネット中継(外部リンク)

クリック



平成27年6月定例会 審議した議案とその結果

議案番号	議案第59号	議案第60号	議案第61号	議案第62号	議案第63号	議案第64号	議案第65号	議案第66号	議案第67号	議案第68号	議案第69号	議案第70号	諮問第1号	請願第2号	議員派遣第2号
議員名	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案同意	原案同意	推薦	原案同意	不採択	原案可決
1 川田 匡文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
2 真鍋 順穂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
3 松永 恭二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
5 水本 徹雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
6 佐野 大輔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
7 神田 泰孝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
8 多田 光廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
9 小橋 清信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
10 山本 直久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
11 岡田 剛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12 大前 誠治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 三宅 真弓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14 中谷真裕美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15 尾崎淳一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16 加藤 正員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17 藤田 伸二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 小野 健一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19 高木 新仁	議長のため採決に参加せず														
20 三谷 節三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21 福部 正人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22 内田 俊英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23 国方 功夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24 片山 圭之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25 松浦 正武	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26 横川 重行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27 三木 まり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対、一は除斥または欠席した者です。

請願審査結果

「戦争法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）案の廃案を求める意見書」の提出を求める請願

新日本婦人の会丸亀支部
支部長 細谷國子

●請願の要旨

安倍内閣は国際平和支援法、平和安全法制整備法という名の戦争法案成立を強行しようとしている。侵略戦争の反省から作られた日本国憲法は「戦争する国にならない」ことを強く決意したものであり、丸亀市民の命と暮らし、安全に責任を負う丸亀市議会として、当該法案を廃案とするよう関係機関に意見書を提出されたい。

●本会議での審査結果

採択を求める討論
藤田 伸二 尾崎淳一郎
採択しないことを求める討論
内田 俊英
採決の結果、不採択とした。



16人の議員が 市の考えを問う 一般質問

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

川田 匡文

①人口減少に歯止めをかける
施策②丸亀文化を基盤とした
街創りを

成措置を

福部 正人

①歴史的な公文書の広範な利用
を目指して②環状交差点の導入
③青い鳥教室の開室時間の延長
など④文化観光大使委嘱事業の
充実⑤ご当地婚姻届の作成

佐野 大輔

①マイナンバー制度②コミュ
ニティバスの見直し③若者の
声を市政へ反映させる方策

真鍋 順穂

①大手町公共施設等の今後の整
備②事業仕分けの導入③ラグビ
ーワールドカップ2019日本
の合宿誘致

尾崎淳一郎

①平和行政②市道田村町蓬萊線
の拡幅整備③「スローシティ」
の考えに基づいたまちづくり④
青い鳥教室

三木 まり

①市民サービスの観点からの情
報共有化②空き家対策関連

水本 徹雄

①丸亀城天守エリアに来場者へ

おもてなし整備を②合併10
年記念事業のフィナーレを城
内グラウンドで③自転車の違
反運転防止啓発活動④丸亀の
まちづくりの発展に向けた財
源確保⑤新庁舎建設

藤田 伸二

①平和行政の推進②市職員の
確保③土器川河川敷内の歩行
者自転車専用道路の快適利用

片山 圭之

①県の経済振興策に対する市
長の考えを②市長の考える丸
亀市のランドビジョンは③
緑のまちづくり④審議会への
諮問のあり方

内田 俊英

①リノベーションまちづくり
②職員育成イノベーション

神田 泰孝

①投票率減少への対策②各施
設で催す行事をまとめた総合
案内掲示板の設置を③市民課
来客用モニターの放送内容改
善④動物愛護の教育や啓発

中谷真裕美

①待機児童解消と子ども・子
育て支援新制度②国民健康保
険

大手町周辺 一体的観光整備を

◎川田議員 大手町内には京極
家の御家老の屋敷や家臣の屋
敷、そして追手門など、歴史的
に由緒のある建造物があった。

建物跡の検証・調査を行い、案
内板を設置してはどうか。ま
た、丸亀城、大手町周辺を一体
化した観光拠点とすることを提
案するが、見解は。

▲産業文化部長 案内板は、こ
れまで民間諸団体が外堀跡や昔
の地名などを表示した石柱を立
てており、さらに坂本龍馬が立
ち寄った矢野道場の説明板も民
間団体によって設置されること
になっている。市も金毘羅街道



丸亀城と市民ひろば



市役所庁舎

に関する案内板などを設置しているが、今後さらなる検証を行い、資料を整えたうえで、案内板などを検討してまいりたい。大手町を一体とした観光拠点整備は、関係部署とも連携し、より丸亀について理解を深めていただけるよう努めたい。

地域戦略会議に

若者の意見を

Q 加藤議員 市庁舎等整備審議会、未来を築く地域戦略会議などにおいて、若者の意見を聞く機会を設けるべきと考えるが、見解は。

A 市長 総合計画や市民に影響を及ぼす計画には、今後、若い世代の意見がますます重要にな

ってくる。そのため審議会や説明会の日程を工夫し、若い世代が参加しやすくすることや、特に必要があれば、若い世代を抽出してアンケートを実施することも検討したい。また、ワークショップを積極的に活用したいと考えている。

市民の意見を聞くためには、市からの情報発信が何よりも大切であるので、今後もわかりやすい情報提供に努め、未来を築く総合戦略の策定や市庁舎等整備などについては、若者の意見を十分反映できるように、手法を検討する。

南海トラフ大地震

避難対策の課題は

Q 真鍋議員 防災、減災の観点から、避難対策について、①避難誘導②避難所の確保③市民への情報伝達④防災知識の普及などの現状と課題は。

A 市長公室長 大規模災害発生時、市も情報発信や広報活動、避難誘導などを行うが、限界があるため実質的に避難誘導を担っていただけの自主防災組織と連携を深め、地域防災力を向上

させることが課題解決につながると考えている。

また、市の公共施設や津波避難ビル、福祉避難所等、本市で想定される避難者数は確保されているが、災害の種類によつて、住民が避難困難とならないよう、検証を進めるほか、防災ラジオの導入も含め、情報伝達の方策についても検討を重ねる。防災訓練や出前講座など、今後もさまざまな機会を捉え、防災知識の普及に努めたい。



津波避難ビルの看板

人口減少社会

丸亀市の施策は

Q 大前議員 まち・ひと・しごと創生総合戦略では、東京一極集中を是正し、地方との均衡を図る方針を掲げ、地方での若者



丸亀平野を望む

向け雇用を創出し、人口の受け皿とすることや、地方拠点での勤務者を増やすことを目指している。地方は、現在でも努力しているが、それでも地方の人口は減少している。この国の目標について、理事者はどのように考えているのか。

A 市長 国の総合戦略で、地方と東京圏の人口の流入出を均衡させるといった基本目標が掲げられたことは、地方の人口減少克服にとって追い風になると考えている。

本市においては、故郷に帰りたいと思ったときに帰ってきやすい、また、丸亀で暮らしたいと思う人たちが出ていく必要がない環境を整えることに力を入れるべきと考えている。

競艇場屋上緑化

今後の考えは

Q 国方議員 競艇場屋上緑化の現状はどうなっているのか。緑化によってCO2削減効果があるとのことだが、維持コストを考えると緑化をやめ、太陽光発電パネルを設置すべきと考えるが、市の考えは。

A 競艇事業局長 競艇場の屋上は基本設計時は芝生であったが、より塩害や乾燥に強いセダムに変更している。日常は雨水、井戸水を利用した自動かん水での水やり、年2回の除草と施肥で、昨年度の管理経費は約78万円であった。

今後セダムが順調に生育する



競艇場の屋上

と、除草の経費などがより削減できると思われる。太陽光発電パネルの設置については、屋上緑化の初期投資や撤去費用などの確認が必要なことに加え、セダムの生育が順調なこともあるので、時間をかけて今後の方向性を定めたい。

食育について

横断的組織設置を

Q 横川議員 市役所内で健康増進や食育について横断的な組織（グループ会議）を立ち上げ、学校給食などの具体的な見直しを図ることが必要と考えるが、市の見解は。

A 市長 健康増進計画と食育推進計画の目標達成のため、庁内関係各課の連携を深め、計画を推進していくための庁内会議を年2回実施し、情報交換や行政内部の連携を確認している。特に食育については、庁内関係課に加え、関係機関、団体を含めたメンバーで会議を開催している。学校給食について、保護者、教員などが出席して年6回程度開催する献立研究会や試食会などでの意見を参考に、学校

一般質問

給食を教材に食生活の改善や食への感謝の気持ちを育めるよう努めたい。市民の健康増進のための庁内組織設置については、今後検討する。



保育所の給食

公文書館設置 形態や方向性は

Q 福部議員 公文書館設置の方向性は決まっているのか。また、形態はどのようなものが望ましいと考えているのか。

A 総務部長 新たに公文書館を設置するには相当な初期費用や将来的な財政負担が必要であること、また、公文書館来館者が全国的に見て少ない傾向にあることを考えると、歴史的公文書に特化した公文書館設置を現段



飯山市民総合センターにて

階で判断することは難しく、なお議論を要すると考えている。

しかし、歴史的、文化的価値のある公文書や資料などを適正に保存し、市民が必要な時に活用できる環境整備を行うことは重要なことと認識している。

本市が現在検討中の新庁舎の整備や資料館の整備検討の中で、資料の保管場所の確保や公文書館機能を持つスペースの確保について総合的に検討していきたい。

大手町地区整備

大胆な発想を

Q 佐野議員 現在進めている大手町を中心とした施設整備の計画で、道路の一部を廃止して公



大手町交差点

園に造り替えた札幌市のよう
に、市役所周辺の道路を廃止し
て土地の一体利用を行うなど、
これまでの枠組みに制約されな
い土地利用が必要だと考える
が、市の見解は。

A 市長 大手町地区は市道によ
って大きく4つのエリアに分か
れており、何らかの形で土地利
用方法に制限を受けている。全
国的には道路を廃止し、道路で
分断された敷地を一体化して活
用する柔軟な取り組みを行って
いる事例もあるが、大手町地区
の市道は本市のシンボル丸亀城
に通じ、日々多くの人が利用す
る貴重な資産であることから、
慎重な検討が必要である。大手
町地区公共施設整備の検討の場
で幅広く意見を聞き、方向性を
見極めたい。



整備が進む市道

Q 尾崎議員 市道田村町蓬萊線
の塩屋橋北の区間は道幅が狭
く、慢性的に渋滞している。渋
滞を回避する車が付近の生活道
路に流れて通行量が増え、危険
である。この区間はさぬき浜街
道の整備終了後に拡幅を実施す
るとのことであったが、整備計
画はどうなっているのか。

A 建設水道部長 塩屋橋北付近
約30メートルの市道区間は、既
に拡幅整備に必要な用地取得を
完了しており、本年度から工事
に着手する。今年度内にこの区
間を含むJR高架橋までの改良
工事を終え、旧県道丸亀詫間豊

塩屋橋北の市道 整備計画は

浜線からさぬき浜街道までの全
線を片側1車線、歩道付きの市
道として供用する。

また、JR高架橋からさぬき
浜街道までの区間についても、
引き続き整備を行い、平成28年
度中の全線全幅員での道路供用
を目指している。

点字翻訳など

現状と行政支援は

Q 三木議員 目の不自由な方が
行政や地域の情報を得るための
点字翻訳の現状は。また、点訳
者養成講座や点字翻訳、要約筆
記への行政の支援制度が必要だ
と考えるが、市の見解は。

A 健康福祉部長 現在、市内の
ボランティア団体に委託し、点
字広報などを福祉課や綾歌、飯
山の各市民総合センター窓口に
置いている。また、ごみ収集カ
レンダーなどの生活情報は、希
望に応じて点字情報として製作
している。点訳者養成講座は、
市内では講師の確保が難しい現
状にあるため、県が実施する養
成講座の情報を市民に提供して
いきたい。

点字翻訳、要約筆記への支援



要約筆記奉仕員養成講座

は、来年4月に施行される障害
者差別解消法の趣旨にのつと
り、当事者の意見を聞きなが
ら、情報提供に格差が生じない
よう配慮し、取り組みたい。

議会の情報は ホームページで

議会だよりに掲載されたこと
以外の内容を詳しく知りたい方
は、インターネットを通じて、
市ホームページの中の「丸亀市
議会」をご
覧ください
い。本会議
の会議録や
会議日程な
どが見られ
ます。



合併10周年記念 ファイナーレは城内で

Q 水本議員 平成28年3月で供用廃止の決まっている城内グラウンドで、城内グラウンドの卒業式、また市の新たな門出の意味を込めて、合併10周年記念事業のファイナーレイベントを企画してはどうか。

A 市長公室長 昭和23年に野球愛好者の熱い思いが結集して開設された市民による市民のための城内グラウンドの供用廃止に際し、城内グラウンドで野球を楽しむ最後の機会を提供するとともに、単に閉場式典を行うのではなく、より多くの市民が参加でき、かつ心に残るようなイベントとする必要があると考えている。



平成23年のお城まつり

このため、イベントの検討に当たり、合併10周年記念事業のファイナーレとして位置づけることも視野に入れながら、市民の一体感を醸成できるような手法を検討したい。

平和行政 市の取り組みは

Q 藤田議員 戦争体験談をはじめ、戦争の悲惨さを市民に伝える取り組みの進捗状況は。

A 市長 今年には終戦70周年であり、本市の非核平和都市宣言表明10周年という記念の年である。また戦争体験者の高齢化に伴い、若い世代への伝承が困難になりつつある状況を踏まえ、広報丸亀8月号で市民から戦争に関する資料や体験談を募集し、取りまとめたものを11月開催の戦没者追悼式典で展示し、ホームページなどでも紹介する予定としている。

このほか、追悼式での原爆パネル展や8月の広島平和式典への小・中学生とその保護者による参加、広島や長崎の被爆樹木を植樹する記念式の実施などを通じて、市民の皆様、特に次代

一般質問

を担う子供たちに戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さを考える機会を設けたい。



戦没者追悼式

審議会への諮問 市の方針を明確に

Q 片山議員 将来あるべき丸亀市のために審議会などへ諮問するとき、必要な施設をどこにつくり、どれだけの経済・財政効果が期待され、さらに市民生活や文化都市としての効果を市民が共有できるかという具体的計画が抜け落ちていないと感じるが、いかがか。

A 市長公室長 審議会の諮問に当たり、施設の目的や内容、目指すべき効果などについて、市の考えや方向性を審議会委員に理解していただくことは大変重要である。したがって、経費や

財源、採算性など、具体的な数字も示しながら、できる限りわかりやすく施策の趣旨を説明し、市政に市民の意見や専門的見地の考えを反映させるという審議会本来の目的を十分に生かせる審議会運営を行うため、行政としての責任ある政策提案を行っていききたい。



市庁舎等整備審議会

リノベーションまちづくり 市の認識は

Q 内田議員 リノベーションまちづくりでの行政の果たすべき役割は、リノベーションスクーをセットし、多くの人にこれらの動きを知らせ、リーダーを見つけて招聘し、挑戦する人を支援することであると考えるが、本市のリノベーションまち

づくりについての認識を示して
いただきたい。

A 建設水道部長 今後の本市の
まちづくりにとって、コンパクト
シティの考えも重要であり、
本市にしかない特質を生かした
リノベーションで工夫するなど
して、街なかの再生気運を高め
たうえで、中心市街地への人口
集積を図っていきたい。そのた
めには、人を見つけ、核となる
人を育てること、本腰で街なか
に居住し、地域のリーダーとな
るキーパーソンを見出すことが
重要であると考えている。



まちの駅 秋寅の館

投票率低下

子供の時から対策を

Q 神田議員 選挙投票率低下へ

の対策のひとつとして、子供の
ときからの啓発が必要である。
学校の授業の教材としてインタ
ーネット配信やアーカイブを使
うなどして議会を学ぶなどの考
えはあるか。

A 教育長 ネット配信などを活
用するためには、インターネット
トを視聴できる環境を整える必
要があるが、各教室で授業進度
に応じて視聴したり、一時停止
機能を使って先生が議会の仕組
みを解説したりすることもでき
る。このことから、児童・生徒
への啓発は、夏休み中に実施す
るミニ議会をより充実していく
こと、ネット配信などを活用し
た議会視聴を実現することが考
えられるので、模擬選挙やミニ
議会などとあわせて、選挙権年
齢の引き下げも視野に入れ、社
会や政治に対する関心を高める
教育を実践したい。

待機児童解消へ

早急な対策を

Q 中谷議員 平成26年度も16
1人が待機児童となった。保育
士の給与改善による保育士の確
保や待機児童の6割以上を占め



飯山幼稚園

るゼロ歳児の公立保育所での受
け入れ拡大、待機児童の多い飯
山地区での施設増設などが必要
だと考えるが、待機児童解消に
向けた見通しは。

A ことも未来部長 飯山幼稚園
が平成29年度から認定こども園
となっても、施設に余裕がある
ことから、飯山中学校区の保育
を必要とする3歳以上児の受け
入れを拡大することで、飯山
南、飯山北第一保育所の3歳以
上児の保育室に余裕が生じる。
このため、両保育所の余裕保育
室を待機児童の受け入れに活用
したい。

今後も飯山中学校区の民間保
育園へ受け入れの拡大をお願い
しつつ、小規模保育事業などの
参入も促進したい。

議会の動き 4・5・6月

6月	5月	4月
23日 総務委員会協議会	29日 議会運営委員会 定例会初日(6月22日まで) 全員協議会	3日 議会運営委員会 各派会長会
22日 議会改革特別委員会	21日 各派会長会	7日 市庁舎整備等特別委員会 広報広聴委員会
19日 議会改革特別委員会	19日 市庁舎整備等特別委員会 議会運営委員会	14日 各派会長会
12日 議会運営委員会	18日 市庁舎整備等特別委員会 議会運営委員会	16日 議会運営委員会
11日 都市経済委員会	18日 市庁舎整備等特別委員会 議会運営委員会	23日 全員協議会
8日 各派会長会	8日 市庁舎整備等特別委員会 議会運営委員会	27日 4月臨時会
3日 各派会長会	8日 市庁舎整備等特別委員会 議会運営委員会	

一般質問



仁尾小学校の 学校給食を視察

6月
24日



「元気だし」誕生

地元食材を使った食育と健康づくりの実践で注目を浴びている三豊市立仁尾小学校。子供たちの給食は敷地内にある給食センターで調理されていました。同センターで仁尾町内の5つの学校に提供する650食が調理されています。

澤田校長、林教頭、矢野栄養教諭、蜜石所長から、仁尾小学校の実践について説明を受けました。子供たちの低体温改善に、朝食をはじめとした食生活の指導を行う一方、学校給食では調味料改善としてミネラルが多く摂取できるよう、アゴ、煮干し、昆布、シイタケの粉末だしの研究を重ね、「元気だし」が誕生したとのこと。現在、仁尾小学校の学校給食になくはない存在になっています。



自分たちの給食に誇り

ランチルームで児童と一緒に給食をいただきました。「元気だし」を使った「野菜の和え物」「ジャガイモの旨煮」は、確かに塩分や化学調味料ではない、うまみのコクを感じました。

何より驚いたのは子供たちが、「体にいいから元気だしてという名前」「まず、野菜は百回噛むんだよ」など、私たちにきちんと説明できること。自分たちの給食への誇りが伺えました。



家庭の取り組みも必要

学校給食の取り組みと生活習慣の改善で、2年間で35度台の体温の児童数がゼロになったり、脂質異常の改善が見られたりしたとのこと。子供の健康づくりには家庭・教員・栄養士・調理員が一体となった取り組みが必要だと思感しました。

丸亀市では

仁尾町と本市の給食では、食数など前提の違いはありますが、今後、子供たちの健康づくりにいかせるたくさんのヒントをいただきました。

編集 後記

丸亀市議会基本条
例が平成24年3月に
制定されてから3年
が経ちました。第7条に「議会
報告会」の開催が、第8条に
「広報広聴機能の充実」が明記
されています。

昨年来、全国の議会会でヤジ
(問題発言)や議員の公費支出
の不正疑惑が後を絶たず、全国
的に議会や議員への疑心暗鬼が
広がっています。

私としても、これらを対岸の
火事とはとらえず、議会の情報
公開の徹底や議員として自ら襟
を正し、市民の皆さんの模範と
なれるよう日々研鑽しなければ
と思っております。

少子高齢化や東京一極集中に
よる地方の急速な人口減少問題
にはどうすれば歯止めが掛けら
れるのでしょうか？明快で的確
な回答を唱えられる人はいない
のではないのでしょうか。

「二人の知恵より十人の知恵」
が今ほど求められている時代は
ないと思います。皆様の声をお
聴きし、議会の情報を発信する
ことこそが「答え」を導き出す最
良の近道だと確信しています。

広報広聴委員長 岡田 剛